

市民1人100円の善意

3月11日の東日本大震災による津波や火災で、東北・関東地方の太平洋沿岸の広い地域にわたって未曾有の被害が発生しています。



暮らしに役立つ情報紙
平成23年3月18日発行
発行/総社市役所 編集/企画課広報広聴係
〒719-1192 総社市中央一丁目1番1号
☎0866-92-8214
Eメール kikaku@city.soja.okayama.jp

公費での見舞金被災地へ

673万7300円

市は、3月11日に発生した東日本大震災の被災地に対し、公費で市民1人当たり100円に相当する673万7300円の見舞金を、全国市長会を通じ被災地へ送ることを決めました。そして、総社市の呼び掛けにより、県内全27市町村が公費による見舞金を被災地に送ることになりました。また、消防や水道など市の職員を被災地に派遣。アムダと連携し、合同で被災地の救援活動を行っています。

市民1人100円相当の見舞金は、3月1日現在の人口6万7373人に基づき算出。約674万円の財源には、平成22年度一般会計の予備費を充てます。

2月定例市議会最終日の3月18日に補正予算案を提案し、可決後、すみやかに送ります。

市長は記者会見で、「共助の精神で、市町村

消防・水道職員 現地で救援活動中

大震災発生翌日に被災地へ

震災の発生した翌日の3月12日、消火・救出・救援活動のため消防職員と上水道課職員が、現地に向かいました。

消防は、消防職員5人が消防車(タンク車)で被災地に向け出発。宮城県塩釜市や多賀城市などで救出や行方不明者の



宮城県多賀城市内で一軒一軒、安否確認をする総社市の消防職員(3月15日の午後)

岩手県内でアムダとの合同救援活動を行うため、救援物資とともに市職員3人が3月16日、現地に向け出発しました。救援活動は、被害の大

が自腹を切った支援が必要と考え決断した」と説明しました。

捜索にあたっています。

上水道課は、市職員2人が給水タンク(2トン)を積載したトラックで被災地に向け出発。仙台市水道局管内で避難所となっている大学や中学校などで、水に困っている皆さんへの給水活動にあたっています。

— 義援金、救援物資の受付 —

東日本大震災への被災地支援のため、義援金や救援物資を受け付けています。

義援金の募金箱は、市役所の玄関(休日や夜間は当直受付窓口)をはじめ、各支所・出張所、各公民館、市社会福祉協議会など市内40か所に設置しています。また、市コミュニティ協議会や総社青年会議所も募金活動を行っています。

●口座に振り込む場合は、

口座番号 吉備信用金庫本店 普通 0572797

口座名 東日本大震災義援金

※同金庫の本店や支店の窓口で、「東日本大震災の義援金です」と伝えていただければ、振込手数料は無料。

問い合わせ 福祉課福祉総務係 (☎92-8264)

救援物資は、市役所の玄関(休日や夜間は当直受付窓口)、各支所・出張所で、午前8時30分から午後5時まで受け付けています。

求める物資 未使用やクリーニングなどで新品同様のもの、毛布、バスタオル、紙おむつ、トイレットペーパー、飲料水用ポリタンク、ペットボトルの飲料水、お湯だけで作れるレトルト食品、ウェットティッシュ、携帯電話用簡易充電器、乾電池

問い合わせ 総務課行政係 (☎92-8218)

アムダとの 合同救援隊 岩手へ

被害甚大の釜石市や大槌町で活動

釜石市や大槌町で展開。被災地ではガソリンが不足しており、市所有の電気自動車アイ・ミーブ



積載車で市役所を出発するアイ・ミーブ

プ2台を持ち込み、移動用で使います。救援物資は、これまでに市民から提供のあったもので、カップ麺2000個や毛布140枚をはじめ、水、医薬品、米、バスタオルなどをこの第一便で運びました。